

サービス見込み量進捗管理作業シート

計画値：令和3年度、実績値：令和4年3月末

ステップ1：認定率の比較（年間）

(%)

		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
要介護認定率		0.0%	15.8%	-15.8%	
年齢階級	前期高齢者	0.0%	3.9%	-3.9%	
	後期高齢者	0.0%	26.1%	-26.1%	

ステップ2：利用者数の比較

サービス名		単位	計画値	実績値	達成率 (実績値/ 計画値)	乖離 の有無	現状の分析とその確認方法 課題、対応の必要性について
居宅サービス	訪問介護	人/年	4,284	4,676	109%		
	訪問入浴介護	人/年	372	362	97%		
	訪問看護	人/年	3,864	3,662	95%		
	訪問リハビリテーション	人/年	864	759	88%		
	居宅療養管理指導	人/年	3,912	6,907	177%	乖離あり	医療系サービスの利用増加
	通所介護	人/年	6,060	6,345	105%		
	通所リハビリテーション	人/年	3,564	2,637	74%	乖離あり	コロナ禍における利用控え
	短期入所生活介護	人/年	1,644	1,141	69%	乖離あり	コロナ禍における利用控え
	短期入所療養介護（老健）	人/年	132	122	92%		
	短期入所療養介護（病院）	人/年	0	0			
	福祉用具貸与	人/年	9,420	9,151	97%		
	特定施設入居者生活介護	人/年	1,188	1,028	87%		
地域密着型 サービス	定期巡回・随時対応型	人/年	96	47	49%	乖離あり	施設未整備のため
	夜間対応型訪問介護	人/年	0	0			
	認知症対応型通所介護	人/年	12	0	0%	乖離あり	利用者の減少
	小規模多機能居宅介護	人/年	372	163	44%	乖離あり	施設未整備のため
	認知症対応型共同生活介護	人/年	648	517	80%	乖離あり	施設未整備のため
	地域密着型特定施設入居者生活介護	人/年	12	12	100%		
	地域密着型介護老人福祉施設	人/年	348	335	96%		
	看護小規模多機能型居宅介護	人/年	0	0			
	地域密着型通所介護	人/年	1,224	1,244	102%		
施設サービス	介護老人福祉施設	人/年	2,880	2,732	95%		
	介護老人保健施設	人/年	3,528	3,164	90%		
	介護医療院						
	介護療養型医療施設	人/年	36	25	69%	乖離あり	利用者の減少
介護予防支援・居宅介護支援		人/年	17,484	17,412	100%		

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

(円/年)

サービス名		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	85,033	76,467	8,566	
	訪問入浴介護	68,726	70,127	-1,401	一人あたりの利用回数の増加
	訪問看護	48,594	46,935	1,659	
	訪問リハビリテーション	41,560	36,562	4,998	
	居宅療養管理指導	13,873	7,033	6,840	
	通所介護	83,839	74,482	9,358	
	通所リハビリテーション	75,954	69,724	6,230	
	短期入所生活介護	73,828	76,268	-2,439	利用者平均介護度の重度化
	短期入所療養介護（老健）	99,227	107,680	-8,452	利用者平均介護度の重度化
	短期入所療養介護（病院）				
	福祉用具貸与	12,949	13,059	-111	
	特定施設入居者生活介護	192,772	190,652	2,120	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	234,583	169,143	65,441	
	夜間対応型訪問介護				
	認知症対応型通所介護				
	小規模多機能居宅介護	216,470	207,696	8,775	
	認知症対応型共同生活介護	256,821	260,463	-3,642	利用者平均介護度の重度化
	地域密着型特定施設入居者生活介護	209,833	210,417	-584	
	地域密着型介護老人福祉施設	258,175	253,248	4,928	
	看護小規模多機能型居宅介護				
地域密着型通所介護	92,910	82,848	10,062		
施設サービス	介護老人福祉施設	254,520	257,873	-3,353	利用者平均介護度の重度化
	介護老人保健施設	277,374	281,911	-4,537	利用者平均介護度の重度化
	介護医療院				
	介護療養型医療施設	400,361	342,805	57,556	
介護予防支援・居宅介護支援		12,889	12,934	-45	

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題（地域密着の整備についても含め）

本市は施設サービスに偏った提供体制となっており、要介護1、2の方は老人保健施設、その後介護老人福祉施設という流れがある。介護老人福祉施設、老人保健施設に加え、認知症型共同生活介護においても利用者の平均介護度の重度化がみられる。また、在宅サービスについて不足しており、地域密着型サービスの定期巡回・随時対応型、小規模多機能居宅介護の整備を進めている。

ステップ5：地域密着型サービスの整備状況

(%)

サービス名		計画値 (8期中)	整備数 (R4.3末)	達成率 (整備数/計画値)	現状、整備を図るうえでの課題・整備見込
	定期巡回・随時対応型 (施設数)	1	0	0%	今年度公募により事業者決定、次年度整備見込み
	夜間対応型訪問介護 (施設数)	0	0		
	認知症対応型通所介護 (施設数)	0	0		
	小規模多機能居宅介護 (施設数)	2	0	0%	今年度公募により事業者決定、次年度整備見込み

地域密着型サービス	認知症対応型共同生活介護 (定員数(人))	27	9	33%	1ユニットは今年度公募により事業者決定、今年度整備見込み、残り2ユニットについては今年度公募により事業者決定、次年度整備見込み
	地域密着型特定施設入居者生活介護 (定員数(人))	0	0		
	地域密着型介護老人福祉施設 (定員数(人))	0	0		
	看護小規模多機能型居宅介護 (施設数)	0	0		
	地域密着型通所介護 (施設数)	0	0		

- ・サービスの計画的な整備にあたって、事業者の募集の方法等、工夫をしている点について記入をしてください。  
(指定基準を条例に盛り込む、公募指定の活用、説明会の開催・個別の働きかけ等)
- ・サービスの整備が充足しており、これ以上の整備は不要である場合は、そのように考える状況を記載してください。
- ・小規模多機能居宅介護について、単独では採算がとれないという経営面の意見があったことから、認知症対応型共同生活介護との併設を含めた公募を行っている。
- ・計画内の公募は通年で随時行うこととし、HPに掲載している。